

注3

大学番号：国009

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

意見伺い

岩手大学 総合科学研究科 理工学専攻

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人岩手大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	経営企画本部	戦略企画室
職名・氏名	センリヤクキカク 戦略企画グループ主査	シュサ ツツミダイスケ 堤 大輔
電話番号	019-621-6032	
（夜間）	019-621-6032	
F A X	019-621-6014	
e-mail	senryaku@iwate-u.ac.jp	

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合科学研究科

<理工学専攻>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

<別添資料>

資料1 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則	30
資料2 岩手大学大学院総合科学研究科理工学専攻教務委員会規則	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岩手大学

(2) 大学名

岩手大学大学院

(3) 大学の位置

〒020-8550

岩手県盛岡市上田4-3-5 (岩手県盛岡市上田3-18-8)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	イワブチ アキラ 岩瀬 明 (平成27年3月)		
研究科長	ヤシロ ヒトシ 八代 仁 (平成29年4月)		
専攻長	フナザキ ケンイチ 船崎 健一 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合科学研究科 理工学専攻 修士(理工学) 修士(工学) 修士(芸術工学)	理学関係, 工学関係	2年	180人	360人	基礎となる学部等 理工学部 (化学・生命理工学科, 物理・材料理工学科, シ ステム創成工学科)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	180 (-) [-]				0.88 倍	
志願者数	189 (-) [7]	- (-) [-]				
受験者数	184 (-) [7]	- (-) [-]				
合格者数	165 (-) [7]	- (-) [-]				
B 入学者数	160 (-) [7]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	0.88					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	160 [7] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	
3年次			/		
計	160 [7] (-)	[] ()			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	160 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	160 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜総合科学研究科 理工学専攻＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	総合科学科目	震災復興・地域創生	地域創生特論	1前・後	1								兼 11 オムニバス・共同 (一部)	
		地域防災特論	1後	1									兼 8 オムニバス	
		地域文化特論	1後	1									兼 10 オムニバス・共同 (一部)	
	イノベーション	物質機能創成特論	1前	1			2	4					兼 2 オムニバス	
		システム創成特論	1後	1			3	4					兼 1 オムニバス	
		先端生命科学特論	1後	1			1						兼 7 オムニバス	
	グローバル	多文化共生特論	1後	1									兼 10 オムニバス・共同 (一部)	
		グローバルエネルギー特論	1前	1			3	1					兼 4 オムニバス	
		グローバル環境科学特論	1後	1			1						兼 11 オムニバス・共同 (一部)	
	技法知科目	アカデミック英語 (A2-LSRW)	1・2前・後	1									兼 5	
		アカデミック英語 (B1-LS)	1・2前・後	1									兼 5	
		アカデミック英語 (B1-RW)	1・2前・後	1									兼 5	
		アカデミック英語 (B2-LS)	1・2前・後	1									兼 5	
		アカデミック英語 (B2-RW)	1・2前・後	1									兼 5	
アカデミック日本語		1・2前・後	1									兼 1		
研究者倫理特論		1前	1			1						兼 6 オムニバス・共同 (一部)		
学修支援論		1前			1							兼 1		
学修支援演習	1前・後			1							兼 1			
専攻共通科目	ソフバ工理工学特論	1前	2			9	2					兼 5 オムニバス・共同 (一部)	教員の異動に伴う変更 (29)	
	グローバルキャリアデザイン	1前・後	1			2	3			2		兼 3 ※演習 オムニバス・共同 (一部)		教育効果を高めるために、非常勤講師を追加 (29)
	国際ビジネス特論	1・2前	2									兼 2 ※演習 集中		
	技術経営学特論	1・2前	2									兼 4 集中		
	国際プレゼンテーション	2前・後	1									兼 1 集中		教育効果を高めるために、非常勤講師を追加 (29)
	インターンシップ	1・2前・後	2				9					兼 2 オムニバス 集中 ※講義 集中		
	プロジェクト・マネジメント演習	1・2前・後	2			3	5					兼 1		
融合科目	数理・情報科学特論	1・2前・後	1			4	2	3				兼 1 オムニバス	教員の昇格に伴う変更 (29) 担当 脇裕之 平成29年2月教員審査済み 判定 適格	
	ロボティクスソリューション総論	1前	1			1	2			1		兼 5 オムニバス	教育効果を高めるために、非常勤講師を追加 (29)	
	金属生産プロセス工学特論	1前	1			2	3					兼 5 オムニバス	教員の異動に伴い、専任を兼任に変更し、引き続き担当 (29)	
	医用理工学特論	1前	1			5	1					兼 1 オムニバス・共同 (一部)		
物質化学コース専門科目	基幹科目	有機反応化学特論	1前	2								兼 1	英語対応可能科目 ※演習 英語対応可能科目 ※演習 英語対応可能科目 英語対応可能科目 ※演習 英語対応可能科目	教員の昇格に伴う変更 (29) 担当 横田政晶 平成28年8月教員審査済み 判定 適格
		有機合成化学特論	1後	2								兼 1		
		高分子合成化学特論	1前	2			1							
		表面反応化学特論	1後	2			1							
		電気化学特論	1前	2			1							
		無機化学特論	1後	2			1							
	物理化学特論	1前	2			1								
化学工学特論	1後	2			1	4					英語対応可能科目			
特別研修	1~2通	4			6	8	5	9		3		教員の昇格に伴う変更 (29) 担当 横田政晶 平成28年8月教員審査済み 判定 適格		
特別研究	1~2通	6			6	8	5	9				教員の昇格に伴う変更 (29) 担当 横田政晶 平成28年8月教員審査済み 判定 適格		
展開科目	分子機能材料学特論	1後	2				1					英語対応可能科目		
	有機金属化学特論	1前	2				1					英語対応可能科目		
	高分子機能化学特論	1後	2			1						英語対応可能科目		
	環境化学特論	1前	2				1					英語対応可能科目		
	エネルギー化学特論	1後	2				1					英語対応可能科目		
	分析化学特論	1前	2			1						英語対応可能科目		
	機能性表面工学特論	1後	2				1					※実験 英語対応可能科目		
	分離工学特論	1前	2				1					英語対応可能科目		

生命科学 コース 専門科目	基幹科目	細胞情報学特論	1・2後		2		1				※演習 英語対応可能科目	
		生化学特論	1・2前		2		1				英語対応可能科目	
		細胞工学特論	1・2後		2		1				英語対応可能科目	
		人間生理学特論	1・2前		2		1				英語対応可能科目	
		神経科学特論	1・2後		2			1			英語対応可能科目	
		分子生物学特論	1・2前		2		1				英語対応可能科目	
		発生生物学特論	1・2前		2			1			英語対応可能科目	
		再生医療工学特論	1・2後		2		1				英語対応可能科目	
		医薬品科学特論	1・2後		2		1				英語対応可能科目	
		特別研修	1～2通	4			5	3		2		
特別研究	1～2通	6				5	3					
展開科目	分子生体機能学特論	1・2後		2						兼 1 ※演習		
	栄養生化学特論	1・2前		2					1	兼 1 ※演習		
	生体計測特論	1・2後		2					1			
	分子遺伝学特論	1・2後		2					1	英語対応可能科目		
数理・物理 コース 専門科目	基幹科目	代数学特論Ⅰ	1前		2		1					
		幾何学特論Ⅰ	1前		2		1					
		解析学特論Ⅰ	1前		2			1				
		線形代数学特論Ⅰ	1前		2		1				※演習 英語対応可能科目	
		応用数学特論Ⅰ	1前		2		1				英語対応可能科目	
		微分方程式特論Ⅰ	1前		2			1				
		現代物理学特論Ⅰ	1前		2		1					
		ナノ材料工学特論	1前		2		1					
		超伝導理工学特論	1前		2		1				英語対応可能科目	
		確率統計学特論Ⅰ	1前		2			1			英語対応可能科目	
		高エネルギー物理学特論	1前		2		1				英語対応可能科目	
		特別研修	1～2通	4			11	6		2		
		特別研究	1～2通	6			11	6				
		展開科目	代数学特論Ⅱ	1後		2		1				
			幾何学特論Ⅱ	1後		2		1				
			解析学特論Ⅱ	1後		2			1			英語対応可能科目
			線形代数学特論Ⅱ	1後		2		1				※演習 英語対応可能科目
応用数学特論Ⅱ	1後			2		1				英語対応可能科目		
微分方程式特論Ⅱ	1後			2			1			兼 1		
現代物理学特論Ⅱ	1後			2		1				英語対応可能科目		
確率統計学特論Ⅱ	1後			2			1			兼 1 英語対応可能科目		
関数解析学特論	1後			2		2				兼 1 英語対応可能科目		
光学特論	1後			2			1			兼 1 英語対応可能科目		
展開科目	磁性理工学特論	1後		2						兼 1 英語対応可能科目		
	強相関電子材料学特論	1後		2			1			英語対応可能科目		
	計算材料学特論	1後		2			1			英語対応可能科目		
	結晶成長論特論	1・2後 4冊		2			1			教育効果を高めるため、開講時期を見直したため変更(29)		
	材料科学 コース 専門科目	基幹科目	電子機能材料理工学特論	1前		2		1				英語対応可能科目
			材料物理化学特論	1前		2		4				兼 1 英語対応可能科目
			機能材料評価学特論	1前		2			1			英語対応可能科目
			特別研修	1～2通	4			3 4 3 4	3		2	兼 1 英語対応可能科目
			特別研究	1～2通	6				3			英語対応可能科目
		展開科目	エネルギー材料理工学特論	1後		2			1			英語対応可能科目
有機機能材料理工学特論			1前		2		1				英語対応可能科目	
製錬プロセス工学特論			1後		2		4				兼 1	
ナノ・エコ材料工学特論			1後		2			1			英語対応可能科目	
構造材料評価学特論			1後		2			1			英語対応可能科目	
放射光科学特論	1前		2						兼 1			
電気電子通信 コース 専門科目	基幹科目	電磁気学特論	1前		2		1				英語対応可能科目	
		電子物性工学特論	1前		2		1				英語対応可能科目	
		電子回路工学特論	1前		2			1			※演習	
		デジタル信号処理特論	1前		2		1				英語対応可能科目	
		特別研修	1～2通	4			7 5 4	4		2 3	兼 1 英語対応可能科目	
	展開科目	特別研究	1～2通	6			7 5 4	4			英語対応可能科目	
		通信システム工学特論	1後		2		1				英語対応可能科目	
		制御システム工学特論	1後		2		1				英語対応可能科目	
		計測システム工学特論	1・2前 2冊		2		1				※演習 英語対応可能科目	
		組込システム工学特論	2前		2		1				※演習	
半導体デバイス工学特論	1・2前 4後		2			1		4	英語対応可能科目			
磁気デバイス工学特論	2前		2			1			英語対応可能科目			

	高周波デバイス工学特論	2前		2			1										※演習			教育効果をも高めるため、開講時期を見直したため変更(29)
	電磁エネルギー変換工学特論	1・2前 1後		2			1										※演習			
	誘電・絶縁工学特論	2前		2			1										※演習			
	高電圧過渡現象工学特論	2前		2			1										※演習			
																			英語対応可能科目	
機械・航空宇宙コース専門科目	航空宇宙推進工学特論	1前		2			1												英語対応可能科目	
	加工システム特論	1前		2			1													
	フィールドロボティクス	1後		2			1													
	機械・航空宇宙プロジェクトマネジメント	1通	2				5 4	6 7					6 8			共同(一部)				教員の昇格および教員の異動に伴う変更(29) 担当 脇裕之 平成29年2月教員審査済み判定 合格
	特別研修	1~2通	4				5 4	6 7					6 8							教員の昇格および教員の異動に伴う変更(29) 担当 脇裕之 平成29年2月教員審査済み判定 合格
	特別研究	1~2通	6				5 4	6 7												教員の昇格に伴う変更(29) 担当 脇裕之 平成29年2月教員審査済み判定 合格
	航空宇宙空気力学	1後		1			1													
	連続体力学	1後		1			1													
	航空構造力学	1後		1			1	4												教員の昇格に伴う変更(29) 担当 脇裕之 平成29年2月教員審査済み判定 合格
	破壊力学	1後		1			1	4												教員の昇格に伴う変更(29) 担当 脇裕之 平成29年2月教員審査済み判定 合格
	制御工学特論	1前		2				1												
	精密工学特論	1後		2				1												
	流体工学特論	1後		2				1												
	流動現象特論	1前		2				1												
	表面工学特論	1前		2				1												
	機械運動力学特論	1後		2				1												※演習
知能情報コース専門科目	アルゴリズム特論	1後		2									1							
	計算知能特論	1前		2				1												
	信号処理特論	1前		2																
	知能ロボティクス特論	1後		2					1											兼 1 ※演習
	特別研修	1~2通	4				2	4	1		4									
	特別研究	1~2通	6				2	4	1											
	聴覚情報処理特論	1前		2				1												
	画像認識特論	1前		2				1												※演習
	論理設計特論	1後		2					1											
	光情報システム特論	1前		2					1											
	システムソリューション特論	2前		2				1												
デザイン・メディア工学コース専門科目	デザイン・メディア工学総論	1前	4				3	2		1				兼 4 オムニバス						
	融合デザインプロジェクト	1後	2				3	2		1				兼 2 共同						
	特別研修	1~2通	4				3	2		1										
	特別研究	1~2通	6				3	2												
	地域デザイン	1・2後		2										兼 1 ※演習						
	環境センシング	1・2後		2										兼 1 ※演習						
	ランドスケープデザイン	1・2前		2										兼 1 ※演習						
	映像メディア表現	1・2前		2										兼 1 ※演習						
	プロダクトデザイン	1・2後		2			1							兼 1 ※演習						
	情報デザイン	1・2後		2										兼 1 ※演習						
	コンピュータアニメーション	1・2前		2						1				兼 1 ※演習						
	3次元形状表現	1・2前		2			1							兼 1 ※演習						
	イメージセンセシス	1・2前		2			1							兼 1 ※演習						
	コンピュータビジョン	1・2後		2						1				兼 1 ※演習						
	ネットワークシステム	1・2後		2						1				兼 1 ※演習						英語対応可能科目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
25	131	2	158	25	131	2	158	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{158} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考							
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	算定の考え方が間違っていたので正しい数値に修正(29)							
	校舎敷地	280,802 m ² 390,135 m²	0 m ²	0 m ²	280,802 m ² 390,135 m²								
	運動場用地	61,037 m ² 92,894 m²	0 m ²	0 m ²	61,037 m ² 92,894 m²								
	小 計	341,839 m ² 483,029 m²	0 m ²	0 m ²	341,839 m ² 483,029 m²								
	そ の 他	74,213 m ² 14,190,708 m²	0 m ²	0 m ²	74,213 m ² 14,190,708 m²								
	合 計	416,052 m ² 14,673,737 m²	0 m ²	0 m ²	416,052 m ² 14,673,737 m²								
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	算定の考え方が間違っていたので正しい数値に修正(29)							
		141,583 m ² 191,972 m² (141,583 m ²) (191,972 m²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	141,583 m ² 191,972 m² (141,583 m ²) (191,972 m²)								
(3) 教室等		講義室 96 室	演習室 51 室	実験実習室 362 室	情報処理学習施設 12 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 3 室 (補助職員 0人)	大学全体						
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数									
		総合科学研究科理工学専攻		118 室									
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、大学全体での数 予算状況（運営費交付金の状況）等の変更による(29)					
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕										
			総合科学研究科理工学専攻	909,997 [199,025] 902,912 [198,398] (887,312 [196,998])					11,525 11,579 [2,204] (11,419 [2,184])	6,340 [5,767] 6,232 [5,660] (6,202 [5,630])	4743 3850 (3,750)	87 89 (87)	0 0 (0)
			計	909,997 [199,025] 902,912 [198,398] (887,312 [196,998])					11,525 11,579 [2,204] (11,419 [2,184])	6,340 [5,767] 6,232 [5,660] (6,202 [5,630])	4743 3850 (3,750)	87 89 (87)	0 0 (0)
(6) 図書館		面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体							
		9,089 m ²	679 席	678,172 冊									
(7) 体育館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体						
		6,357 m ²	野球場	陸上競技場	テニスコート	武道場ほか							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）による				
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円					
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円						
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次						
		千円	千円	千円	千円	千円	千円						
学生納付金以外の維持方法の概要													

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岩手大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間文化課程	4	125	6	250	学士（総合科学）	1.04	平成28年度	同上	
地域政策課程	4	75	4	150	学士（総合科学）	1.06	平成28年度	同上	
人間科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
法学経済課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
環境科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部								岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育教員養成課程	4	160	—	640	学士（教育）	1.07	平成12年度	同上	
生涯教育課程	4	—	—	—	学士（生涯教育）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	学士（芸術文化）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
理工学部			3年次					岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
化学・生命理工学科	4	90	2	180	学士（理工学）	1.05	平成28年度	同上	
物理・材料理工学科	4	80	2	160	学士（理工学）	1.02	平成28年度	同上	
システム創成工学科	4	270	16	540	学士（工学）	1.02	平成28年度	同上	
工学部								岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成28年より学生募集停止
応用化学・生命工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
農学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
植物生命科学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.08	平成28年度	同上	
応用生物化学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.02	平成28年度	同上	
森林科学科	4	30	—	60	学士（農学）	1.08	平成28年度	同上	
食料生産環境学科	4	60	2	120	学士（農学）	1.06	平成28年度	同上	
動物科学科	4	30	1	60	学士（農学）	1.01	平成28年度	同上	
農学生命課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
応用生物化学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共生環境課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
動物科学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共同獣医学科	6	30	—	180	学士（獣医学）	1.08	平成24年度	同上	
獣医学課程	6	—	—	—	学士（獣医学）	—	平成19年度	同上	平成24年より学生募集停止
総合科学研究科（修士課程）								岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
地域創生専攻	2	54	—	54	修士（農学） 修士（水産学） 修士（工学） 修士（スポーツ健康科学） 修士（学術）	1.18	平成29年度	同上	
総合文化学専攻	2	10	—	10	修士（学術）	0.70	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
理工学専攻	2	180	—	180	修士（理工学） 修士（工学） 修士（芸術工学）	0.88	平成29年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
農学専攻	2	50	—	50	修士（農学）	1.08	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	

人文社会科学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間科学専攻	2	-	-	16	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
国際文化学専攻	2	-	-	8	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
社会・環境システム学専攻	2	-	-	8	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
教育学研究科（専門職学位課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
教職実践専攻	2	16	-	32	教職修士（専門職）	1.09	平成28年度			
教育学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育実践専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成21年度	-	同上	平成28年より学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成7年度	-	同上	平成28年より学生募集停止
工学研究科（博士前期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
応用化学・生命工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
フロンティア材料機能工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
デザイン・メディア工学専攻	2	-	-	-	修士（工学又は芸術工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
金型・鋳造工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成18年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
農学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
農学生命専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
応用生物化学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
共生環境専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
動物科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
バイオフロンティア専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
工学研究科（博士後期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
フロンティア物質機能工学専攻	3	9	-	27	博士（工学）	0.29	平成21年度			
電気電子・情報システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.16	平成21年度		同上	
機械・社会環境システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.50	平成21年度		同上	
デザイン・メディア工学専攻	3	3	-	9	博士（工学又は芸術工学）	1.44	平成21年度		同上	
連合農学研究科（博士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
生物生産科学専攻	3	8	-	24	博士（農学又は学術）	1.12	平成2年度		同上	
生物資源科学専攻	3	10	-	30	博士（農学又は学術）	0.90	平成2年度		同上	
寒冷圏生命システム学専攻	3	6	-	18	博士（農学又は学術）	0.66	平成18年度		同上	
生物環境科学専攻	3	8	-	18	博士（農学又は学術）	0.91	平成2年度		同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合科学研究科 理工学専攻>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
専	教授	オオishi ヲシキ 大石 好行 (58)	平成29年4月	特別研修 特別研究 高分子機能化学特論						
専	教授	シマダ カズアキ 嶋田 和明 (64)	平成29年4月	有機合成化学特論						
兼任	講師	シマダ カズアキ 嶋田 和明 (65)	平成30年4月	有機合成化学特論						
専	教授	シライ マサユキ 白井 誠之 (52)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※ 表面反応化学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	タケガチ ナオト 竹口 竜弥 (53)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論※ 電気化学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ヒラハラ ヒデアツシ 平原 英俊 (57)	平成29年4月	ソフトバスター工学特論※ 医用理工学特論※ 無機化学特論 特別研修 特別研究 分析化学特論						
専	教授	ヤシロ ヒトシ 八代 仁 (57)	平成29年4月	物理化学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	イチノセ ミツユキ 一ノ瀬 充行 (62)	平成29年4月	プロジェクト・マネジメント演習 人間生理学特論 医薬品科学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	オガタス タカヲ 小栗 太郎 (61)	平成29年4月	生化学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	トモタ ヒロシ 富田 浩史 (50)	平成29年4月	先端生命科学特論※ ソフトバスター工学特論※ 医用理工学特論※ 再生医療工学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	フクダ トモカズ 福田 智一 (48)	平成29年4月	医用理工学特論※ 細胞工学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ヤスガワ ヒロオ 安川 洋生 (55)	平成29年4月	分子生物学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	オシキリ タケイ 押切 謙一 (63)	平成29年4月	幾何学特論Ⅰ 特別研修 特別研究 幾何学特論Ⅱ						
専	教授	オダイ シンカ 尾台 喜孝 (58)	平成29年4月	数理・情報科学特論※ 代数学特論Ⅰ 特別研修 特別研究						
専	教授	カワダ コウイチ 川田 浩一 (51)	平成29年4月	特別研修 特別研究 代数学特論Ⅱ						
専	教授	シゲノマツコウジ 重松 公司 (63)	平成29年4月	特別研修 特別研究 結晶成長論特論						
専	教授	ナカヤマ アツコ 中山 敦子 (53)	平成29年4月	ナノ材料理工学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ナカタ シンヤ 成田 晋也 (48)	平成29年4月	ソフトバスター工学特論※ 高エネルギー物理学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ニシキギシゲル 西崎 滋 (62)	平成29年4月	ソフトバスター工学特論※ 現代物理学特論Ⅰ 特別研修 特別研究						
専	教授	ハナミ ヒトシ 花見 仁史 (58)	平成29年4月	特別研修 特別研究 現代物理学特論Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
専	教授	マツカワ ミチアキ 松川 倫明 (57)	平成29年4月	数理・情報科学特論※ 超伝導理工学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ミヤノ マシヤ 宮島 信也 (38)	平成29年4月	数理・情報科学特論※ 応用数学特論Ⅰ 特別研修 特別研究 応用数学特論Ⅱ						
専	教授	ヨシイ ヨウジ 吉井 洋二 (58)	平成29年4月	線形代数学特論Ⅰ 特別研修 特別研究 線形代数学特論Ⅱ						
専	教授	ヨシヅワ マサト 吉澤 正人 (64)	平成29年4月	研究者倫理特論※ グローバルキャリアデザイン※ 磁性理工学特論						
兼任	講師	ヨシヅワ マサト 吉澤 正人 (65)	平成30年4月	研究者倫理特論※ グローバルキャリアデザイン※ 国際プレゼンテーション※ 磁性理工学特論						
専	教授	カヤマ ケイジロ 鎌田 康寛 (47)	平成29年4月	物質機能創成特論※ 金属生産プロセス工学特論※ 医用理工学特論※ 特別研修 特別研究 構造材料評価学特論						
専	教授	フジノ ヒロユキ 藤代 博之 (60)	平成29年4月	グローバルキャリアデザイン※ 金属生産プロセス工学特論※ 電子機能材料理工学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ヤマグチ カツヲ 山口 勉功 (53)	平成29年4月	ソフトバスイ工学特論※ 金属生産プロセス工学特論※ 材料物理化学特論 特別研修 特別研究 製錬プロセス工学特論			辞任			平成29年3月 山口勉功教授辞任(29) 「ソフトバスイ工学特論」、「金属生産プロセス工学特論」、「特別研修」、「特別研究」は他に複数人の担当者がいるため、支障はない。なお、「材料物理化学特論」は引き続き本人が非常勤講師として担当。「製錬プロセス工学特論」は、別の非常勤講師が担当し学生に影響が出ないよう対応済み。
専	教授	ヨシモト 川ユキ 吉本 則之 (55)	平成29年4月	特別研修 特別研究 有機機能材料理工学特論						
専	教授	オサガ ヒロシ 長田 洋 (53)	平成29年4月	ソフトバスイ工学特論※ 特別研修 特別研究 制御システム工学特論 組込システム工学特論						
専	教授	コバヤシ コウイチロウ 小林 宏一郎 (48)	平成29年4月	システム創成特論※ 医用理工学特論※ 特別研修 特別研究 計測システム工学特論						
専	教授	タカキ コウイチ 高木 浩一 (53)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論※ 特別研修 特別研究 誘電・絶縁工学特論 高電圧過渡現象工学特論						
専	教授	ツネカワ ヨシタカ 恒川 佳隆 (60)	平成29年4月	デジタル信号処理特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ニシダテ カズメ 西館 数芽 (52)	平成29年4月	物質機能創成特論※ 電子物性工学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ホンマ ナオキ 本間 尚樹 (43)	平成29年4月	システム創成特論※ 特別研修 特別研究 通信システム工学特論						
専	教授	ムキケツ セイジ 向川 政治 (46)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論※ 電磁気学特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ウエノ カズユキ 上野 和之 (51)	平成29年4月	プロジェクト・マネジメント演習 機械・航空宇宙プロジェクトマネジメント 特別研修 特別研究 航空宇宙力学 連続体力学						
専	教授	フナオキ ケンイチ 船崎 健一 (59)	平成29年4月	ソフトバスイ工学特論※ グローバルキャリアデザイン※ 航空宇宙推進工学特論 機械・航空宇宙プロジェクトマネジメント 特別研修 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
専	教授	ミズノ マサヒロ 水野 雅裕 (55)	平成29年4月	ソフトバスマ工特論※ 加工システム特論 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究						
専	教授	ヤマオカ ヒデキ 柳岡 英樹 (48)	平成29年4月	機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究 流動現象特論						
専	教授	アベ マサト 安倍 正人 (64)	平成29年4月	信号処理特論						
兼任	講師	アベ マサト 安倍 正人 (65)	平成30年4月	信号処理特論						
専	教授	ニシヤマ キヨシ 西山 清 (59)	平成29年4月	システム創成特論※ 計算知能特論 特別研修 特別研究						
専	教授	ハギハラ ヨシヒロ 萩原 義裕 (52)	平成29年4月	ロボティクスソリューション総論※ 特別研修 特別研究 システムソリューション特論						
専	教授	ヨシダ ヒデアキ 吉田 等明 (62)	平成29年4月	研究者倫理特論※ ソフトバスマ工特論※						
専	教授	オオツカ ナオヒロ 大塚 尚寛 (64)	平成29年4月	デザイン・メディア工学総論※ 地域デザイン						
兼任	講師	オオツカ ナオヒロ 大塚 尚寛 (65)	平成30年4月	デザイン・メディア工学総論※ 地域デザイン						
専	教授	コノ コウイチ 今野 晃市 (54)	平成29年4月	プロジェクト・マネジメント演習 デザイン・メディア工学総論※ 融合デザインプロジェクト 特別研修 特別研究 3次元形状表現						
専	教授	タナカ タカフミ 田中 隆充 (48)	平成29年4月	デザイン・メディア工学総論※ 融合デザインプロジェクト 特別研修 特別研究 プロダクトデザイン						
専	教授	フシモト タカヒロ 藤本 忠博 (50)	平成29年4月	ソフトバスマ工特論※ デザイン・メディア工学総論※ 融合デザインプロジェクト 特別研修 特別研究 イメージシシス						
専	准教授	アイザワ スミエ 会澤 純雄 (43)	平成29年4月	特別研修 特別研究						
専	准教授	ウイ コウイチ 宇井 幸一 (48)	平成29年4月	特別研修 特別研究 エネルギー化学特論						
専	准教授	キムラ タケン 木村 毅 (53)	平成29年4月	特別研修 特別研究 分子機能材料学特論						
専	准教授	クレ ショウチク 呉 松竹 (55)	平成29年4月	特別研修 特別研究 機能性表面工学特論						
専	准教授	コノガミ トシノブ 是永 敏伸 (48)	平成29年4月	グローバルキャリアデザイン※ 特別研修 特別研究 有機金属化学特論						
専	准教授	シバサキ ユウジ 芝崎 祐二 (45)	平成29年4月	物質機能創成特論※ グローバルキャリアデザイン※ 高分子合成化学特論 特別研修 特別研究						
専	准教授	テラサキ マサヨリ 寺崎 正紀 (44)	平成29年4月	特別研修 特別研究 環境化学特論						
専	准教授	トキ ノブヒト 土岐 規仁 (45)	平成29年4月	物質機能創成特論※ インターンシップ プロジェクト・マネジメント演習 特別研修 特別研究 分離工学特論						
専	准教授	ヨコタ マサアキ 横田 政晶 (51)	平成29年4月	化学工学特論 特別研修 特別研究	専	教授	ヨコタ マサアキ 横田 政晶 (51)	平成29年4月	化学工学特論 特別研修 特別研究	平成28年9月 准教授から教授への昇格に伴い、 担当科目を追加(29) 平成28年8月 AC教員審査済(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
専	准教授	アラキ イサト 荒木 功人 (51)	平成29年4月	インターンシップ 発生物学特論 特別研修 特別研究						
専	准教授	オガキ タク 尾崎 拓 (35)	平成29年4月	細胞情報学特論 特別研修 特別研究						
専	准教授	スガノ エリコ 菅野 江里子 (41)	平成29年4月	医用理工学特論※ 神経科学特論 特別研修 特別研究						
専	准教授	イシガキ フヨシ 石垣 剛 (46)	平成29年4月	特別研修 特別研究 光学特論						
専	准教授	ウラハシ セイジ 瓜生 誠司 (47)	平成29年4月	物質機能創成特論※ インターンシップ 特別研修 特別研究 計算材料学特論						
専	准教授	カワサキ シュウジ 川崎 秀二 (49)	平成29年4月	プロジェクト・マネジメント演習 数理・情報科学特論※ 確率統計学特論Ⅰ 特別研修 特別研究 確率統計学特論Ⅱ						
専	准教授	ナカニシ ヨシキ 中西 良樹 (44)	平成29年4月	物質機能創成特論※ 特別研修 特別研究 強関連電子材料学特論						
専	准教授	ナラ ミツル 奈良 光紀 (43)	平成29年4月	数理・情報科学特論※ 微分方程式特論Ⅰ 特別研修 特別研究						
専	准教授	ホンダ タカシ 本田 卓 (45)	平成29年4月	解析学特論Ⅰ 特別研修 特別研究 解析学特論Ⅱ						
専	准教授	コバヤシ タケル 小林 悟 (46)	平成29年4月	グローバルキャリアデザイン※ 金属生産プロセス工学特論※ 機能材料評価学特論 特別研修 特別研究						
専	准教授	ナイチ トモキ 内藤 智之 (47)	平成29年4月	インターンシップ 金属生産プロセス工学特論※ 特別研修 特別研究 エネルギー材料工学特論						
専	准教授	ヤマグチ アキラ 山口 明 (52)	平成29年4月	プロジェクト・マネジメント演習 金属生産プロセス工学特論※ 特別研修 特別研究 ナノ・エコ材料工学特論						
専	准教授	アキヤマ マサヒロ 秋山 雅裕 (35)	平成29年4月	インターンシップ 特別研修 特別研究 電磁エネルギー変換工学特論						
専	准教授	キチ ヒロアキ 菊池 弘昭 (45)	平成29年4月	特別研修 特別研究 磁気デバイス工学特論						
専	准教授	ダイボウ マサヒロ 大坊 真洋 (51)	平成29年4月	プロジェクト・マネジメント演習 電子回路工学特論 特別研修 特別研究						
専	准教授	ミツラ ケンジ 三浦 健司 (41)	平成29年4月	特別研修 特別研究 高周波デバイス工学特論						
専	准教授	オダワラ ヒロキ 小野寺 英輝 (55)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論※ 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究 流体工学特論						
専	准教授	サカイ アツシ 佐藤 淳 (45)	平成29年4月	システム創成特論※ 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究 制御工学特論						
専	准教授	ミヨシ タスカ 三好 扶 (44)	平成29年4月	ロボティクスソリューション総論※ フィールドロボティクス 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究						
専	准教授	ユカワ トシヒロ 湯川 俊浩 (49)	平成29年4月	システム創成特論※ 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究 機械運動力学特論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
専	准教授	ヨシノ ヤスヒロ 吉野 泰弘 (48)	平成29年4月	インターンシップ 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究 表面工学特論						
専	准教授	ヨシハラ ノブヒト 吉原 信人 (40)	平成29年4月	ソフトバスター工学特論※ インターンシップ 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究 精密工学特論						
専	准教授	ワケ 裕之 脇 裕之 (44)	平成29年4月	数理・情報科学特論※ 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究 航空構造力学 破壊力学	専	教授	ワケ 裕之 脇 裕之 (44)	平成29年4月	数理・情報科学特論※ 機械・航空宇宙プロジェクトマネージメント 特別研修 特別研究 航空構造力学 破壊力学	平成29年4月 准教授から教授への昇格に伴い、 担当科目を追加(29) 平成29年2月 AC教員審査済(29)
専	准教授	キムラ アキオ 木村 彰男 (48)	平成29年4月	特別研修 特別研究 画像認識特論						
専	准教授	キン テンカイ 金 天海 (38)	平成29年4月	プロジェクト・マネジメント演習 ロボティクスソリューション総論※ 知能ロボティクス特論 特別研修 特別研究						
専	准教授	ナカタ ヨシマ 永田 仁史 (55)	平成29年4月	システム創成特論※ 特別研修 特別研究 聴覚情報処理特論						
専	准教授	ヨシモリ ケウ 吉森 久 (61)	平成29年4月	ソフトバスター工学特論※ インターンシップ 特別研修 特別研究 光情報システム特論						
専	准教授	アカシ タカヤ 明石 卓也 (38)	平成29年4月	インターンシップ デザイン・メディア工学総論※ 融合デザインプロジェクト 特別研修 特別研究 コンピュータビジョン						
専	准教授	ナカヤ ナオン 中谷 直司 (46)	平成29年4月	システム創成特論※ デザイン・メディア工学総論※ 融合デザインプロジェクト 特別研修 特別研究 ネットワークシステム						
専	講師	ヒラヤマ タカシ 平山 貴司 (45)	平成29年4月	特別研修 特別研究 論理設計特論						
専	助教	ススキ エイチ 鈴木 映一 (55)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	ナナオ ヒデタカ 七尾 英孝 (46)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	ムラオカ ヒロキ 村岡 宏樹 (37)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	サカタ カズミ 坂田 和実 (54)	平成29年4月	特別研修 生体計測特論						
専	助教	ワカハヤシ トクミツ 若林 篤光 (46)	平成29年4月	特別研修 分子遺伝学特論						
専	助教	タニグチ ハルカ 谷口 晴香 (30)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	ネキン ケンタロウ 根岸 健太郎 (30)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	カスハラ タケ 葛原 大軌 (33)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	セキモト ヒデヒロ 関本 英弘 (34)	平成29年4月	グローバルキャリアデザイン※ 特別研修						
専	助教	イエ ロンビン 叶 榮彬 (51)	平成29年4月	特別研修 半導体デバイス工学特論	専	准教授	イエ ロンビン 叶 榮彬 (51)	平成29年4月	特別研修 特別研究 半導体デバイス工学特論	平成29年3月 助教から准教授への昇格に伴い、 担当科目を追加(29) 平成29年2月 AC教員審査済(29)
専	助教	サトウ ヒロアキ 佐藤 宏明 (50)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	タカハシ カツキ 高橋 克幸 (32)	平成29年4月	グローバルキャリアデザイン※ 特別研修						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
専	助教	加藤 ヒロマサ 大雅 (43)	平成29年4月	機械・航空宇宙プロジェクト 特別研修			辞任			平成29年4月 加藤大雅助教辞任(29) 「機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント」、「特別研修」は他に複数 人の担当者がいるため、支障はない。
専	助教	小山 タケシ 猛 (41)	平成29年4月	機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント 特別研修						
専	助教	ササキ マコト 佐々木 誠 (39)	平成29年4月	ロボティクスソリューション総論※ 機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント 特別研修						
専	助教	スエナガ コウスケ 末永 陽介 (41)	平成29年4月	機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント 特別研修						
専	助教	タニグチ ヒデオ 谷口 英夫 (48)	平成29年4月	機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント 特別研修						
専	助教	ニシカワ ナオヒロ 西川 尚宏 (38)	平成29年4月	機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント 特別研修						
専	助教	フクエ タカシ 福江 高志 (33)	平成29年4月	機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント 特別研修						
専	助教	ホウジヨウ ケイロ 北條 智彦 (38)	平成29年4月	機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント 特別研修			辞任			平成28年12月 北條智彦助教辞任(29) 「機械・航空宇宙プロジェクトマネー ジメント」、「特別研修」は他に複数 人の担当者がいるため、支障はない。
専	助教	サトウ マコト 佐藤 信 (57)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	フジノカ ヒロタ 藤岡 豊太 (47)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	ヤマナカ カツシ 山中 克久 (36)	平成29年4月	アルゴリズム特論 特別研修						
専	助教	ルウ シン 盧 忻 (38)	平成29年4月	特別研修						
専	助教	マツヤマ カツツグ 松山 克胤 (40)	平成29年4月	デザイン・メディア工学総論※ 融合デザインプロジェクト 特別研修 コンピュータアニメーション						
兼任	理事	オガワ サシ 小川 智 (58)	平成29年4月	有機反応化学特論						
兼任	教授	アイイ ミチコ 家井 美千子 (60)	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	教授	イトウ ケイコ 伊藤 菊一 (53)	平成29年4月	先端生命科学特論※						
兼任	教授	イワサキ ミチヤ 井良沢 道也 (60)	平成29年4月	地域防災特論※ グローバル環境科学特論※						
兼任	教授	ウヰ コウエイ 宇佐美 公生 (60)	平成29年4月	多文化共生特論※						
兼任	教授	オオノ マキオ 大野 真男 (62)	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	教授	カンノ フミオ 菅野 文夫 (61)	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	教授	キムラ ケイイチ 木村 賢一 (57)	平成29年4月	先端生命科学特論※						
兼任	教授	キムラ ナオヒロ 木村 直弘 (55)	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	教授	コシノ シン 越谷 信 (58)	平成29年4月	地域防災特論※ グローバルエネルギー特論※						
兼任	教授	サイトウ ヒロツグ 齋藤 博次 (62)	平成29年4月	地域文化特論※ 多文化共生特論※						
兼任	教授	サトウ カズリ 佐藤 和憲 (62)	平成29年4月	地域創生特論※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
兼任	教授	サノ ヒロアキ 佐野 宏明 (62)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	教授	セキノ ノボル 関野 登 (58)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	教授	タカハシ コウイチ 高橋 宏一 (62)	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	教授	タカガシ ジュンイチ 武田 純一 (62)	平成29年4月	システム創成特論※						
兼任	教授	タケハラ アキヒデ 竹原 明秀 (58)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	教授	ツヤマ マサアキ 対馬 正秋 (54)	平成29年4月	研究者倫理特論※ ソフトパス理工学特論※						
兼任	教授	ナカガワ ヒロシ 中澤 廣 (64)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	講師	ナカガワ ヒロシ 中澤 廣 (65)	平成30年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	教授	ヒゲチ トモシ 樋口 知志 (57)	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	教授	ヒキネ アキラ 比屋根 哲 (59)	平成29年4月	地域創生特論※ 研究者倫理特論※						
兼任	教授	ヒラキ タツミ 開 龍美 (62)	平成29年4月	研究者倫理特論※ ソフトパス理工学特論※						
兼任	教授	ヒロセ コウイチ 廣瀬 宏一 (63)	平成29年4月	地域創生特論※						
兼任	教授	ヒロタ ジュンイチ 廣田 純一 (62)	平成29年4月	地域創生特論※ 地域防災特論※						
兼任	教授	マツオカ カズミ 松岡 勝美 (54)	平成29年4月	地域防災特論※						
兼任	教授	ミナモト マサアキ 南 正昭 (52)	平成29年4月	地域創生特論※ 地域防災特論※						
兼任	教授	ムサシラ テツ 妻倉 哲 (61)	平成29年4月	地域防災特論※						
兼任	教授	ヤマザキ トモコ 山崎 友子 (64)	平成29年4月	地域防災特論※						
兼任	講師	ヤマザキ トモコ 山崎 友子 (65)	平成30年4月	地域防災特論※						
兼任	教授	ヤマモト アキヒロ 山本 昭彦 (60)	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	教授	ヨコヤマ ヒデアツ 横山 英信 (54)	平成29年4月	地域創生特論※ 多文化共生特論※						
兼任	教授	ワキノ ヒロシ 脇野 博 (60)	平成29年4月	研究者倫理特論※ ソフトパス理工学特論※						
兼任	教授	ヒラツカ サダト 平塚 貞人 (53)	平成29年4月	金属生産プロセス工学特論※						
兼任	教授	ミズエト マサユキ 水本 将之 (44)	平成29年4月	金属生産プロセス工学特論※						
兼任	教授	ナカザワ タカシ 長澤 孝志 (62)	平成29年4月	栄養化学特論						
兼任	教授	モトムラ ケン 本村 健太 (49)	平成29年4月	デザイン・メディア工学総論※ 融合デザインプロジェクト 映像メディア表現						
兼任	准教授	イシムラ カクシ 石村 学志 (45)	平成29年4月	地域創生特論※						
兼任	准教授	イトウ アサヒ 伊藤 歩 (45)	平成29年4月	物質機能創成特論※ グローバルキャリアデザイン※						
兼任	准教授	イトウ サチオ 伊藤 幸男 (46)	平成29年4月	地域創生特論※ グローバルエネルギー特論※						
兼任	准教授	イトウ ヨシアキ 伊藤 芳明 (49)	平成29年4月	先端生命科学特論※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
兼任	准教授	エモト 江本 理恵 (46)	平成29年4月	学修支援論 学修支援演習						
兼任	准教授	オナカ (タカシマ) 尾中 (高島) 夏美 (59)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW) 国際プレゼンテーション※						
兼任	准教授	カグマ (ウチノ) 海妻 (内田) 佳子 (48)	平成29年4月	多文化共生特論※						
兼任	准教授	カミタ 和宏 (40)	平成29年4月	多文化共生特論※						
兼任	准教授	グラ アレクサンドル ジャン GRAS Alexandre Jean (42)	平成29年4月	多文化共生特論※						
兼任	准教授	コノ (川端) 小島 聡 ヒコ 子	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	准教授	ゴトウ トモアキ 後藤 友明 (49)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	准教授	コノ 小川 葉子 (46)	平成29年4月	多文化共生特論※						
兼任	教授	ゴミ ツウヘイ 五味 壮平 (49)	平成29年4月	地域創生特論※						
兼任	教授	ササオ トシアキ 笹尾 俊明 (43)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論※						
兼任	准教授	シノ ヒロシ 下野 裕之 (43)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	准教授	シノブ 主演 祐二 (35)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)						
兼任	准教授	タツワリ アミ 立澤 文見 (49)	平成29年4月	先端生命科学特論※						
兼任	准教授	テグチ ヨシタカ 出口 香隆 (52)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	准教授	ナカガミ マキ子 中里 まき子 (41)	平成29年4月	多文化共生特論※						
兼任	准教授	ナカシマ キヨタカ 中島 清隆 (42)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論※ グローバル環境科学特論※						
兼任	准教授	ノジマ マチ子 橋本 学 (55)	平成29年4月	地域文化特論※						
兼任	准教授	ハタケキマ カツリ 富山 勝徳 (47)	平成29年4月	研究者倫理特論※						
兼任	教授	マツタ 洋子 松岡 洋子 (56)	平成29年4月	アカデミック日本語						
兼任	准教授	ミツタ ヒロシ 三井 隆弘 (46)	平成29年4月	グローバル環境科学特論※						
兼任	准教授	ミヤケ サトシ 三宅 諭 (45)	平成29年4月	地域防災特論※						
兼任	准教授	ミヤギ マサオ 宮崎 雅雄 (42)	平成29年4月	先端生命科学特論※ 分子生体機能学特論						
兼任	准教授	ヤマダ ミチ子 山田 美和 (35)	平成29年4月	先端生命科学特論※						
兼任	准教授	ヤマモト キヨタカ 山本 清隆 (44)	平成29年4月	地域創生特論※ グローバル環境科学特論※						
兼任	准教授	ヤマモト シンジ 山本 信次 (48)	平成29年4月	地域創生特論※						
兼任	准教授	ヤシタ 仁實 梁 仁實 (45)	平成29年4月	多文化共生特論※						
兼任	准教授	イシマツ ヒロキ 石松 弘幸 (44)	平成29年4月	ソフトバスマテリアル工学特論※						
兼任	准教授	ウヅマキ 俊之 杭田 俊之 (51)	平成29年4月	ソフトバスマテリアル工学特論※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
兼任	准教授	キノウ ミツグ 齊藤 貢 (46)	平成29年4月	デザイン・メディア工学総論※ 融合デザインプロジェクト 環境センシング						
兼任	准教授	ルヤマ タク 晴山 巧 (42)	平成29年4月	金属生産プロセス工学特論※						
兼任	助教	ツカグン ヒデハル 塚越 英晴 (33)	平成29年4月	先端生命科学特論※						
兼任	講師	アサノ ロバート ケン Asano Robert Ken (47)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)						
兼任	講師	イトウ ヒロユキ 伊藤 博幸 (69)	平成29年4月	物質機能創成特論※						
兼任	講師	キクイ ナツミ 菊池 孝美 (65)	平成29年4月	多文化共生特論※						
兼任	講師	キクイ カサシ 菊池 司 (45)	平成29年4月	デザイン・メディア工学総論※						
兼任	講師	サトウ ヒデオ 佐藤 秀雄 (68)	平成29年4月	グローバルキャリアデザイン※						
兼任	講師	シモガ シンゴ 下田 真吾 (40)	平成29年4月	ロボティクスソリューション総論※						
兼任	講師	スガワラ ヒロユキ 菅原 隆平 (50)	平成29年4月	ロボティクスソリューション総論※						
兼任	講師	ススキ マサユキ 鈴木 正幸 (64)	平成29年4月	数理・情報科学特論※						
兼任	講師	タウンゼント サイモン Townsend Simon (46)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)						
兼任	講師	イダ アキラ 伊達 朗 (55)	平成29年4月	国際ビジネス特論						
兼任	講師	ナカシマ フミオ 中嶋 文雄 (68)	平成29年4月	微分方程式特論Ⅱ						
兼任	講師	ナカムラ ミツル 中村 満 (66)	平成29年4月	金属生産プロセス工学特論※						
兼任	講師	ニューベリー ダニエル Newbury Daniel Copeland (42)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)						
兼任	講師	ヒロシワ ヒロユキ 廣沢 一郎 (54)	平成29年4月	放射光科学特論						
兼任	講師	ベ ジンソク (45)	平成29年4月	情報デザイン						
兼任	講師	ミウラ ケイタロウ 三浦 康秀 (66)	平成29年4月	関数解析学特論						
兼任	講師	ヤマウチ キヨシ 山内 清 (70)	平成29年4月	医用理工学特論※						
兼任	講師	ヤマウチ タカヒロ 山内 貴博 (44)	平成29年4月	ランドスケープデザイン						
兼任	講師	ヨシダ ヒロシ 吉田 弘 (52)	平成29年4月	ロボティクスソリューション総論※						
兼任	講師	ヨシムツ テツオ 吉光 徹雄 (46)	平成29年4月	ロボティクスソリューション総論※						
兼任	講師	ワタナベ マサヨシ 渡邊 政嘉 (53)	平成29年4月	技術経営学特論						
					兼任	講師	アハタ ヨシキ 浅部 喜幸 (62)	平成29年4月	プロジェクト・マネジメント演習	教育効果を高めるために、非常勤講師を追加(29)
					兼任	講師	マツカワ タカヒコ 大蔵 隆彦 (69)	平成29年4月	製錬プロセス工学特論	教員の異動に伴い、非常勤講師を追加(29)
					兼任	講師	ヤマウチ カツリ 山内 勉 (54)	平成29年4月	金属生産プロセス工学特論※ 材料物理化学特論	平成29年3月 教員の異動に伴い、専任を兼任に変更し、引き続き担当(29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名称	
					兼任	講師	やまもと けん 山本 健 (53)	平成29年4月	国際ビジネス特論	教育効果を高めるために、非常勤講師を追加(29)
					兼任	講師	わだ けん 和田 純典 (53)	平成29年4月	ロボティクスソリューション総論※	教育効果を高めるために、非常勤講師を追加(29)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
30	3	3
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
42	38	1	25	106	47	37	1	22	107	45	41	1	22	109
(46)	(38)	(1)	(25)	(110)						[3]	[3]	[0]	[▲3]	[3]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
80	1	25			84	1	22			86	1	22		
(84)	(1)	(25)								[6]	[0]	[▲3]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	山口 勉功	必修	ソフトパス理工学特論	①	平成29年3月31日付で岩手大学を辞職したため就任辞退（29）	
			選択	金属生産プロセス工学特論	①		
			選択	材料物理化学特論	②		
			必修	特別研修	①		
			必修	特別研究	①		
2	助教	北條 智彦	必修	機械・航空宇宙プロジェクトマネジメント	①	平成28年12月15日に岩手大学を辞職したため就任辞退（29）	
			必修	特別研修	①		
合計（A）				後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
2	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	1 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	6 科目	計	2 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	助教	加藤 大雅	必修	機械・航空宇宙プロジェクトマネジメント	①	平成29年4月15日付で一身上の都合により辞任（29）	
			必修	特別研修	①		
合計（C）				後任補充状況の集計（D）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	2 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3 人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目
	選択	3	科目	選択	1	科目	選択	2	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	10	科目	計	8	科目	計	2	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>教員の辞任等による科目の未開講は無い。学生への周知に関しては、新入生に配布する「履修の手引き」やWebシラバスにおいて、学生の授業に支障がないよう周知している。</p>

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>	
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		是正意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・ 同一設置者が設置する既設学部等(〇〇学科、●●学科)の～すること。	〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<総合科学研究科 理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>（全学）教育推進機構教育推進連携部門 【規則：別添資料1】 （理工学専攻）理工学専攻教務委員会 【規則：別添資料2】 ※平成29年3月までは工学研究科教務委員会。（以下の内容は工学研究科教務委員会のもの）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>（全学） 7回（参加教員14人ほか事務職員2人） （理工学専攻）20回（参加教員12人）ほか事務職員3人 ※平成28年3月までは工学部教務委員会（以下の開催状況等は工学部教務委員会のもの）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>（全学） FD実施計画, GPA, 学年暦, 卒業生・修了生アンケートについて審議 （理工学専攻）教育課程の編成, 授業科目の履修, 非常勤講師、インターンシップに関することを審議</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>（全学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD研修 ・ 授業公開 ・ 授業評価アンケート（前期, 後期各1回）の実施 <p>（理工学専攻）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度授業評価アンケートの実施 ・ 平成28年度授業実施状況調査の実施 <p>b 実施方法</p> <p>（全学）教育推進機構から各学部事務を通じて教員へ周知の上, 実施 （理工学専攻）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度に前期, 後期各1回授業評価アンケート実施した。 ・ 平成28年度の授業実施状況調査を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（全学）全学FD研修（平成28年9月2日） 教員88名参加

（理工学専攻）

- ・授業評価アンケート
アンケート結果を科目ごとに担当教員へ返却し、授業改善に役立った。
- ・授業実施報告
平成28年度の授業実施状況調査を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

（全学）授業評価アンケート結果を踏まえ、教育推進機構教育推進連携部門において、改善事項の整理し、全学FD研修のテーマとして改善に向けた取組を実施。

（理工学専攻）各学科で改善点の把握を行い授業改善につなげている。また、授業評価アンケート結果については、学生にも公表を行い学生からのチェックにも役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

（全学）前期及び後期に授業アンケートを実施（全学共通教育）

（理工学専攻）2年に1度、前期及び後期に授業アンケートを実施し、翌年にアンケート結果の分析を行っている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

（全学）アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）

（理工学専攻）アンケートの集計結果とともに、各学科での分析結果を報告書にまとめ、教職員および学生に向けてホームページにて公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に沿ったカリキュラムを用意し、平成29年4月より学生の受入を開始した。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向け取り組む。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年度 公表予定

b 公表方法

・平成29年度年度計画の自己点検・評価を通じた「自己点検・評価報告書」等を
大学ホームページ上に公開予定（平成30年度中）

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に評価機関の評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 7月)

岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則

(平成26年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、岩手大学教育推進機構規則第18条第2項の規定に基づき、岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議（以下「部門会議」という。）に関し、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 部門会議は、次に掲げる事項を審議するとともに、必要に応じて、教育推進機構会議への提言を行う。

- 一 教育推進連携部門に係る中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- 二 学生（卒業生を含む）に対する各種調査、学修成果測定等に関する企画、実施及び報告等に関すること。
- 三 各種教育プログラムの点検評価の企画、実施及び報告に関すること。
- 四 各学部における教育改善に資する情報提供及び助言等に関すること。
- 五 ファカルティ・ディベロップメントに関する研修会・講演会、ワークショップ、公開授業の企画及び開催・実施並びに評価に関すること。
- 六 カリキュラム、授業科目及び成績評価方法の調査・開発等に関すること。
- 七 教養教育と専門教育の連携に関すること。
- 八 複数学部間にまたがる専門基礎教育の連携に関すること。
- 九 その他教育改善及び専門教育の全学的な連携に関すること。

(組織)

第3条 部門会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 部門長
 - 二 専任教員
 - 三 兼務教員
 - 四 各学部の教務関係委員会から選出された教員 各1名
 - 五 各学部のFD又は教育評価を担当する委員会から選出された教員 各1名
 - 六 学務企画課長及び大学院・専門教育課長
 - 七 その他部門長が必要と認めた者
- 2 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門に岩手大学教育推進機構規則第12条に定める副部門長を置いた場合は、前項の部門会議の組織構成員とするものとする。

(任期)

第4条 前条第4号及び第5号の組織構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長及び副議長)

第5条 部門会議に議長を置き、部門長をもって充てる。

- 2 議長は、部門会議を招集し、主宰する。
- 3 部門会議に副議長を置き、議長が指名する者をもって充てる。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部門会議は、組織構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、第3条第4号及び第5のうちから1名以上の出席がなければ、会議を開くことができない。なお、第3条第4号及び第5号の組織構成員の代理出席を認めるものとする。

- 2 部門会議の議事は、出席した組織構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(組織構成員以外の者の出席)

第7条 部門会議が必要と認めたときは、組織構成員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 部門会議の庶務は、学務企画課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、部門会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年10月1日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

岩手大学大学院総合科学研究科理工学専攻教務委員会規則

(平成29年4月1日制定)

(設置)

第1条 岩手大学理工学部運営会議規則第7条に基づき岩手大学大学院総合科学研究科理工学専攻教務委員会（以下「委員会」という）を置く。

(任務)

第2条 委員会は、大学院総合科学研究科理工学専攻（以下「理工学専攻」という。）の教育に関して、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 理工学専攻の教育課程の編成に関する事。
- 二 授業科目の履修に関する事。
- 三 非常勤講師に関する事。
- 四 研究生、科目等履修生等に関する事。
- 五 その他理工学専攻の教務に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 評議員 1名
- 二 学部長特別補佐 1名
- 三 理工学専攻の各コースから選出された教員 各1名
- 四 その他委員長が必要と認めた者

(任期)

第4条 前条第3号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員が生じたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、第3条第1号及び第2号の委員から理工学専攻長が指名する。
- 3 副委員長は、委員会の互選による。
- 4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 5 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、第3条第3号委員全員の出席を要する。ただし、代理出席を認めるものとする。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数の賛成をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を出席させ、その意見を聞くことができる。

(専門部会)

第8条 委員会に、専門の事項を具体的に検討するため、専門部会を置くことができる。

2 専門部会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、大学院・専門教育課において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(附則)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。